

行政評価シート(事後評価)

コード 8-4-2	事務事業名 雨水浸透施設助成事業	所管部課 都市整備部下水道課
--------------	---------------------	-------------------

事務事業の概要	事務事業の目的	根拠法令等
	屋根に降った雨水を地下へ浸透させ、地下水のかん養及び潤いのあるまちづくりを進めることを目的とする。	<input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input checked="" type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等 / 補助の概要: 補助団体の概要 (団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要 (国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額) 等	
	敷地面積が500㎡未満の個人住宅に雨水浸透施設を設置する工事に対して、毎年度、予算の範囲において15万円を上限度として助成している。また、平成19年度より都費補助(補助率27.5%)の対象事業となり、市民から多くの要望があった新築住宅を助成の対象とした。	
事業開始時期	7 年度	実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()

事業費データ	項目	単位	17年度	18年度	19年度	20年度
	事業費(A)		4,109	4,963	5,654	7,026
	財源: 国庫支出金・都支出金				1,540	1,930
	財源: 地方債	千円				
	財源: 内: その他 ()					
	財源: 認識: 一般財源		4,109	4,963	4,114	5,096
	所要人員(B)	人	0.40	0.40	0.40	0.40
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	3,274	3,264	3,264	3,264
	臨時職員等賃金(C')	千円				
	総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	7,383	8,227	8,918	10,290
	単位当たりコスト					
	(E)=(D)/ (浸透施設設置戸数)	千円	211	179	142	#DIV/0!

評価指標の設定	活動等指標		単位	17年度	18年度	19年度	20年度
	浸透施設設置戸数	実績値	か所	35	46	63	
	浸透樹設置個数	実績値	m ³	127	168	233	
	(指標の説明・数値変化の理由 など) 助成制度により浸透施設を設置した家屋数(単年度) 助成制度により設置した浸透樹の個数(単年度)						
	成果指標		単位	17年度	18年度	19年度	20年度
	一 浸透樹設置個数(累計)	目標値	個			1,743	2,016
実績値		個	1,395	1,563	1,796		
二 総浸透能力(累計)	目標値	m ³ /h			57,981	59,498	
	実績値	m ³ /h	55,752	56,981	58,498		
(指標の説明・数値変化の理由 など) (一次)浸透樹設置個数累計 (二次)他の浸透施設事業や開発行為を含めた1時間当たりの浸透能力							

事業環境等	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	特になし
	都内26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)	<input type="checkbox"/> 上 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下 雨水浸透施設助成制度を設けているのは26市中本市を含めて18市、そのうち限度額を設定しているのは17市となっている。ただし、本制度の目的が各市様々であるので、一律の比較は難しいが、総じて平均的な助成制度である。
	代替・類似サービスの有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 雨水貯留タンク設置助成(当市は未実施)

コード 8-4-2	事務事業名 雨水浸透施設助成事業	所管部課 都市整備部下水道課
--------------	---------------------	-------------------

【一次評価】

検証項目	ランク		一次評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
事業の優先度(緊急性)	2		<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>雨水溢水対策としても有効な事業であり、今後も引き続き市民にアピールを行うとともに、他市の助成状況を見据えながら事業を進める必要がある。</p>
事業の必要性	2			
事業主体の妥当性	2			
直接のサービスの相手方	2			
事業内容等の適切さ	2			
受益者負担の適切さ	3			
市民ニーズの把握	2			

【二次評価】

検証項目	ランク		二次評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
事業の優先度(緊急性)	2		<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>平成18年度の評価結果を踏まえて、対象範囲の拡大とともに助成金の減額を行ったが、むしろ申請件数は増加しており、潜在的な市民ニーズは相当高い事業と認められる。 本事業は、環境対策とともに溢水対策としても一定の効果があり、今後はさらに市民周知を図るとともに、他市状況の把握や市民アンケートを実施するなど、適正な助成制度となるよう調査研究に努められたい。</p>
事業の必要性	2			
事業主体の妥当性	2			
直接のサービスの相手方	1			
事業内容等の適切さ	2			
受益者負担の適切さ	2			
市民ニーズの把握	2			

【行革本部評価】

行革本部評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>補助実績が制度目的に沿って上昇しており、これまでの制度見直しの努力を評価する。今後は、補助制度の周知や事業実績のPRに力を入れることで、さらに事業実績を上げられるよう努められたい。</p>